**地域振興アドバイザー派遣制度フォローアップ調査業務
報告書**

平成 22 年 3 月

国土交通省都市・地域整備局地方振興課

はじめに

地域振興アドバイザー派遣事業について、平成21年度は、アドバイザー派遣事業のフォローアップ調査を行い、その総括を行うこととした。

地域振興アドバイザー派遣事業は、「地方振興アドバイザー派遣事業」が昭和63年度に始まり、平成8年度に「山村第3セクターアドバイザー派遣事業」が、平成10年度に「中心市街地活性化アドバイザー派遣事業」がそれぞれ開始された。その後、平成13年1月の省庁再編を機に3つの事業が「地域振興アドバイザー派遣事業」とされたものである。

平成20年度までに派遣した地域数は延べ451となった。派遣先の地域も、市町村、地域、広域事務組合等多岐にわたっている。協力いただいたアドバイザーの方も200名を超えている。この21年間を通して一貫して本事業が成果としてきたのは、地域づくりへのきっかけづくりと交流ネットワークであった。地域振興アドバイザー事業のねらいとしてきたことは、まさしく外部の見識によって地域のポテンシャルを顕在化させ、地域づくりを推進することであり、それが各地へ波及することである。事業に関与した関係者から言えば、派遣事業を受け入れ、アドバイザーと一緒に汗を流すことによって、人と人の関係が形成されてくるものといえる。

平成21年度は総括として、過去5年間の派遣先を主にしながら30地区を選定し、現地調査を行った。派遣の当初と現在とでどのようになっているのかを把握しようとしたものである。

また、これからは地域が主体的に地域の活性化を模索する時代となってきたといえる。そうした観点から、アドバイザーのアドバイスを課題別にまとめて整理してみた。アドバイザーの視点や観点が把握できると考える。

本報告書の構成は次のとおりである。

第1章では、アドバイザーの位置づけを、第2章では地域振興アドバイザー派遣事業の歴史と2009年度調査業務の概要を記した。

第3章では、今年度実施した現地調査の結果をとりまとめ、最後に、アドバイザーが寄与してきたことについて記載した。

巻末には、資料として次の3点を収録した。今後、アドバイザーの招致を考えているときに参考いただきたい。

- ① 課題別のアドバイス
- ② アドバイザーの効果的な招致方法
- ③ 平成21年度地域振興アドバイザー一覧

目次

はじめに

第1章	アドバイザーについて	1
第2章	地域振興アドバイザー事業と2009年度調査概要	7
第1節	地域振興アドバイザー派遣事業の歴史	7
1-1	地方振興アドバイザー派遣事業	7
1-2	地域振興アドバイザー派遣事業	10
1-3	地域振興アドバイザー派遣事業の特徴	14
第2節	地域振興アドバイザー派遣制度フォローアップ調査業務	16
2-1	調査地の選定方法について	16
2-2	調査方法について	18
2-3	調査スケジュールについて	19
第3章	アドバイザー派遣後の各地の様子	21
第1節	アドバイザー派遣後の各地の様子	21
1-1	地域の「課題」について	21
1-2	アドバイザー派遣後の各地の様子	22
	■青森県三沢市	24
	■岩手県紫波町	26
	■岩手県西和賀町	30
	■山形県小国町	34
	■茨城県谷和原村	37
	■茨城県美野里町	40
	■新潟県両津市	43
	■千葉県佐原市	47
	■石川県珠洲市	51
	■長野県諏訪市	55
	■長野県美麻村	59
	■長野県飯島町	63
	■岐阜県本巣市	67
	■愛知県田原市	71
	■兵庫県豊岡市	75
	■兵庫県加西市	79
	■奈良県十津川村	82

■鳥取県米子市	87
■島根県浜田市	93
■岡山県真庭市	97
■山口県長門市	101
■山口県錦町	106
■徳島県三好市	109
■徳島県由岐町	113
■愛媛県宇和島市	119
■長崎県雲仙市	122
■熊本県あさぎり町	126
■熊本県苓北町	130
■鹿児島県薩摩川内市	134
■鹿児島県伊仙町	137
第2節 地域の課題への対処とアドバイス	140
□資料：課題別のアドバイス	145
第1節 地域づくりの心構えについて	145
1-1 住民として	145
1-2 行政として	150
1-3 行政と住民の連携	154
第2節 地域づくりの計画	155
2-1 計画の作り方	155
2-2 中山間地域における計画の考え方	159
2-3 商店街・商業地における計画の考え方	165
2-4 市街地における計画の考え方	169
第3節 各種の計画づくり	169
3-1 文化継承	169
3-2 産業振興、コミュニティビジネス	171
3-3 環境整備	173
3-4 第三セクターの経営改善	175
第4節 観光による地域振興	179
4-1 観光の考え方	179
4-2 観光振興を進める上での心構え	182
4-3 観光地としての魅力づくり	185
4-4 リピーター確保の方策	187
4-5 観光誘客施設の考え方	189
4-6 宿泊施設の経営	191

4-7	温泉施設経営、温泉街活性化	194
4-8	その他の施設	196
4-9	イベント開催	198
第5節	グリーンツーリズム、滞在型観光	201
5-1	グリーンツーリズムの考え方	201
5-2	グリーンツーリズム、滞在型観光の始め方	203
5-3	体験メニューの開発と販売	206
第6節	特産品開発、ブランド化	211
6-1	特産品、ブランドの考え方	211
6-2	特産品開発の方法	214
6-3	特産品の販売促進	216
6-4	特産品やブランドを地域振興へつなげる	218
第7節	広報、セールス	221
7-1	広報、セールスの考え方	221
7-2	広報、セールスの手法	222
7-3	PR パンフレットの作成	223
第8節	人材育成、組織活性化	225
8-1	人材育成	225
8-2	組織活性化	228
8-3	ネットワーク形成	232
8-4	地域自治組織	236
□資料：アドバイザーの招致方法		237
□資料：平成 21 年度地域振興アドバイザー一覧		241